

# トランスフォーム™ フロアブル

Isoclast™ active

## 園芸用殺虫剤

かんきつ類、キウイフルーツの吸汁性害虫防除に、  
唯一のスルホキシミン系殺虫剤。

かんきつの大敵、カイガラムシ類・アブラムシ類に優れた殺虫効果を発揮！

吸汁性害虫防除のスペシャリストが、  
速効力と持続力で、かんきつ作りをサポートします。

●キウイフルーツ(カイガラムシ類)に適用拡大！



## ■トランスフォームフロアブルの特長

**唯一の「スルホキシイミン系」殺虫剤です。**

現在の知見において、既存のどの系統の殺虫剤とも交差抵抗性は認められていません。

**「ヤノネカイガラムシ」に、  
幼虫期を通し、高い防除効果があります。**

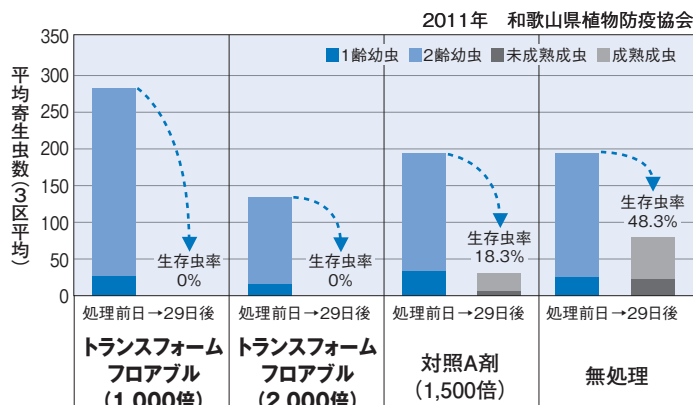
未成熟成虫に対し、生育阻害効果があります。

**幅広い種類のカイガラムシ類に効きます。**

ヤノネカイガラムシをはじめ、アカマルカイガラムシ、フジコナカイガラムシ等に有効です。

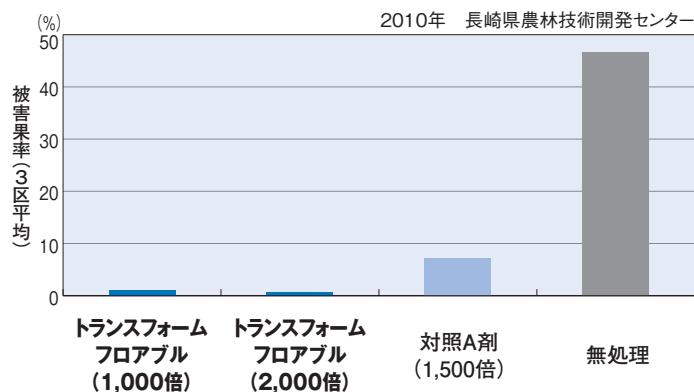
●**毒物・劇物に該当せず、魚類に対して影響が少ない殺虫剤です。**  
 ●**薬臭はほとんどしません。**  
 ●**「収穫前日まで」使用できます。(かんきつ)**

## ■かんきつ/ヤノネカイガラムシ



【試験概要】 ●発生状況:中発生(5月26日に現地から採集した寄生枝を試験樹側枝に取りつけ接種) ●品種:奥津早生(40年生) ●区制:1区1樹×3反復 ●処理方法:6月28日に背負式全自動噴霧器で散布(約3ℓ/枝) ◆調査方法:散布前(6月28日)に接種枝除去後に寄生虫数を調査、7月27日に同一部分の生存虫を調査

## ■かんきつ/アカマルカイガラムシ



【試験概要】 ●発生状況:多発生 ●品種:岩崎早生(20年生) ●区制:1区1樹×3反復 ●処理方法:6月10日に動力噴霧器で十分量散布(7ℓ/樹) ◆調査方法:散布28日後に1樹当たり約100果を調査

## ■トランスフォームフロアブルの適用害虫と使用方法(かんきつ・キウイフルーツのみ抜粋)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量	使用時期	本剤およびスルホキサフロルを含む農薬の総使用回数	使用方法
かんきつ	アブラムシ類	2,000	200~700ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布
	カイガラムシ類、アザミウマ類	1,000~2,000				
	ゴマダラカミキリ成虫	2,000				
キウイフルーツ	カイガラムシ類	1,000~2,000		収穫3日前まで		

※その他、りんご、なし、もも、ネクタリン、すもも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、ばれいしょ、ごぼう、やまのいも、いちご、メロン、すいか、キャベツ、だいこん、レタス、非結球レタス、非結球あぶらな科葉菜類、ブロッコリー、はくさい、ほうれんそう、しそ、きゅうり、なす、ピーマン、トマト、ミニトマト、未成熟とうもろこし、きく、食用ぎく、つつじ類にも適用があります。

## ■使用上の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってから使用してください。
- 本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 使用量に合わせて薬液を調整し、使いきってください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
  - ・散布は各散布機種種の散布基準にしたがって実施してください。
  - ・散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
  - ・散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  - ・散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  - ・受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。

- ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 散布器具及び容器の洗浄水等は河川等に流さないでください。また、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 間引き菜及びつまみ菜に使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

製造

コルテバ・ジャパン株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号  
 山王パークタワー  
<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2022年11月現在の知見に基づき、作成されています。